

株式会社ユニテッドアローズ 2020年3月期第3四半期 決算説明会 質疑応答集

この質疑応答集は、2月6日（木）、7日（金）に開催したマスコミ向け、アナリスト・機関投資家向け決算説明会にて、ご出席の皆様からいただいた主なご質問をカテゴリー別にまとめたものです。理解促進のために一部内容の加筆修正を行っております。

●今期業績について

Q. 第3四半期末時点での利益計画比を知りたい。

A. 営業利益については、第3四半期累計で対計画マイナス9億円、通期修正計画で期初計画からマイナス11億円の見込みです。販管費については、第3四半期累計で対計画マイナス14億円程度となっており、通期修正計画での期初計画比も同程度の見込みです。

Q. 販管費について、第4四半期の売上、売上総利益が下振れした際の削減余地はあるか？

A. 販管費は第3四半期累計で人件費が対計画マイナス6億円、変動費マイナス2億円、固定費マイナス6億円程度です。人件費はアルバイト採用の比率が計画より高まったことや残業削減、賞与の減などが要因で、その他6億円は備品、修繕費、研究開発費などの抑制効果です。第4四半期もコスト抑制を行っており多少の削減余地はありますが、金額までは分かりません。

Q. 在庫が重い状況なのに、修正計画では第4四半期の売上総利益率が前年を上回るように見える。在庫は早めに見切りをつけ、春物を売っていくという考え方か？

A. 修正計画での第4四半期の売上総利益率は、期初計画よりは低めに立てています。在庫処分を行いながらも、1月末から春物の動きも出ており、トータルで改善できる見通しです。

Q. 現在の在庫状況の深刻度は？来期はどれくらいの利益インパクトを想定しておくべきか？

A. 前年同期に比べ、第3四半期末で今秋冬の在庫が15億円程度超過していますが、在庫過多が問題になった時期に比べるとそこまで高い水準ではありません。来期アウトレットで消化しても、連結の売上総利益率への影響は比較的小さくとどまるとみています。

Q. 暖冬を前提とした考え方に変えるとあるが、具体的にどういう対応をするのか？

A. 春と秋が短くなり、冬もなかなか寒くならない環境の中、過去と同じ考え方で商品を投入してもお客様には響かない状況となっています。シーズンを通して着られるシーズンレスアイテムの開発、重ね着による防寒の提案等、コート類の重衣料に偏重しすぎない商品構成を考えています。



Q. 主要サイト別の動向を知りたい。

A. 主要サイトの内訳は以下の通りです。その他のサイトも、概ね売り上げは伸びています。

	売上高前年同期比	構成比	前年同期差
ユナイテッドアローズ オンラインストア*	84.6%	20.4%	▲6.3pt
ゾゾタウン	121.3%	54.3%	4.6pt
楽天ファッション	128.5%	13.8%	1.8pt
アマゾン	111.5%	3.3%	0pt

* ユナイテッドアローズ オンラインストア 2019年9月12日から2019年11月26日までクローズしています。

Q. 特別損失は第4四半期も発生するのか？

A. 修正計画では第4四半期に5億円程度の特別損失を織り込んでおり、通期で16億の見立てとなっています。自社ECサイト関連の特別損失は第3四半期に計上されており、第4四半期の計画には入っていません。最近の実店舗の動向から、店舗の減損損失が発生する見込みです。

●自社ECサイトの開発状況について

Q. 自社ECサイトの開発について、今後どういうプロセスが必要になるのか？

A. 自社ECサイトを自社運営化することで実店舗とネット通販の垣根をなくしたいという方向性には変わりはありませんが、一部機能が過剰になっているところもあり、再度見極めを行っています。このプロセスを経て、中身を確定させてから進行します。

●新型コロナウイルスの影響について

Q. 新型コロナウイルスによる影響をどう見ているか？

A. 現段階（2020年2月7日現在）では春節で工場が稼働していないため、十分な情報収集ができていません。春節明けから徐々に情報が入ってくると思われれます。4月末くらいまでの商品はすでに手配が済んでいるため大きな影響はありませんが、5月くらいからは影響が出てくると考えています。早めに情報収集を図り、対策を検討します。ウイルスの影響は実店舗のお客様動向にも出る可能性があり、ネット通販でカバーしていく考えです。

Q. 現在の中国産比率を知りたい？

A. (株)UA単体のオリジナル企画商品のうち、約45%が中国産です。売上に占めるオリジナル企画商品の割合は60%弱です。

以上